



第二次直接請求運動が スタート!

3/6に始まった第二次直接請求運動では、スタート時から、猛烈なダッシュが始まっています。

3/2の「成功させる会」主催のキックオフ集会では、受任者が目標の3千人を超えたことが報告されましたが、スタート時には、前回スタート時の倍を超える3300人以上に達しています。

労連が統一行動に取り組んだ3/9には、受任者6名をはじめとして18名が参加し、汐入3丁目署署名宣伝行動を展開、96筆の署名を集めるとともに、ハンドマイクによる宣伝を23箇所で行いました。

今回は、前回以上に反応が良く、成功させる会の「のぼり」を見て、道行く人が、「署名させてください」と寄ってくることもあります。

評議員会 & 春闘学習会大成功!

2/15に開催した評議員会は、評議員8名と幹事13名の計21名が集まり、久しぶりに活気のある評議員会となりました。

評議員会では、県学習協会の高橋勝也さんを講師に招き、「なくせ貧困、ワーキングプア—人間らしく生き働くために—」と題する学習会を行いました。内外情勢の興味深い分析を紹介され、最後に「魅力的で元気の出る労働組合に発展させるために・・・自分の想いやロマンを大切に、仕事でも組合活動でも個性を発揮して可能性に挑戦しぬくこと。」としめくくと、会場は大きな感動に包まれました。遠方からお見えの高橋さんは、すぐにお帰りにならなければならない、講義や質疑・感想の交換に十分な時間がとれなかったのが残念でした。

尚、この日の評議員会に多数参加された理由は、学習会の設定とともに、7日の署名オルグで参加要請をしたことが有効でした。

県政総合センター商工労働部 労働課と懇談しました!

2/29、横須賀三浦地域県政総合センター商工労働部労働課との2年ぶりの懇談が行われ、武藤課長、石渡・梁川両副主幹と横三労連の4名が、2時間にわたり和やかな雰囲気での懇談をしました。

双方の自己紹介及び取り組みの紹介のあと、地域の労働運動、とりわけ青年分野での組合への組織について、忌憚のない意見の交換を行いました。

青年労働者の組織化は、どこでも緊急課題に!

商工労働部との懇談では、青年労働者の組織化の課題が、話題となりました。商工労働部では、さまざまなパンフなどの資料を作り、高校生への配布などを行って労働者の権利意識の啓蒙につとめているそうです。全国一般や医労連など、1人でも加盟できる組合のパンフもセンターに配置してくれています。

横三労連の側からは、「もっと積極的に組合づくりを支援して欲しい」「ネットカフェなど、青年労働者が集まる場所にパンフを置いたら?」などの意見を出しました。